

# 土砂災害に備えて『洪水対応演習』を実施

立山砂防事務所では、出水による土砂災害の発生を想定した洪水対応演習（土砂災害）を毎年出水期前に実施しています。この演習は、出水・土砂災害等における防災情報の迅速で的確な伝達・連絡を行うための総合的な情報伝達演習で、土砂災害等発生時の初動対応や応急対策の検討も行い、土砂災害が発生した場合に迅速かつ的確に対応することを目的としています。

日時：令和8年5月20日（水）9：00～17：00

場所：立山砂防事務所（3階 災害対策室）

参加者：職員全員

## 実施内容

- ①情報伝達の演習 ②マスコミ対応の演習 ③土砂災害発生対応演習 ④緊急対策演習  
⑤ヘリによる現地調査にかかる想定演習 ⑥防災情報共有化システムを活用した演習

### 災害の状況（想定）

#### 1. 体制状況

- 7時00分 土砂災害警報発令中【富山市、立山町】
- 9時00分 土砂災害危険警報発令【富山市、立山町】
- 9時00分 注意体制発令【立山砂防事務所災害対策支部】
- 10時00分 警戒体制に移行【立山砂防事務所災害対策支部】
- 10時30分 非常体制に移行【立山砂防事務所災害対策支部】
- 12時00分 土砂災害危険警報解除【富山市、立山町】

#### 2. 被害想定

- ・津之浦砂防堰堤左岸下流約150mで斜面崩壊が発生。
- ・常願寺川の河道に一部堆積・湛水（のちに越水）している。
- ・崩壊土砂は約300,000m<sup>3</sup>と推定される。その内、河道へは約220,000m<sup>3</sup>程度堆積しているものと推定される。
- ・河道への堆積状況は川幅約150mに堆積しており、上下流方向で約150m、最大堆積高約15mである。

#### 3. 応急復旧対策

- ・応急対策として、河道掘削や堤防嵩上げと比較検討した結果、下流の粟巣野第1号砂防堰堤のスリット部を異形ブロックで閉塞し、さらに下流の本宮砂防堰堤で除石を実施することとする。
- ・実施にあたっては、降雨、出水状況及び崩壊土砂の安定状況を確認しながら実施する。
- ・被災個所の監視体制として、巡視員による監視、情報コンセントによるCCTVカメラの設置、ワイヤセンサー設置による監視を行う。
- ・対策実施箇所は、土石流の流下時間を考慮して下流約5kmに位置する粟巣野第1号砂防堰堤とする。応急対策作業中は、危険があった場合には無線、携帯電話による連絡・回転灯により作業員を避難させる。ブロックは、粟巣野ブロックヤードに仮置きブロックを使用する。復旧状況共有のため、Ku-satを設置する。

● 令和8度洪水対応演習は、チャット+Web会議で本局への報告演習も同時に行われました。



演習の状況



応急対策工法の検討



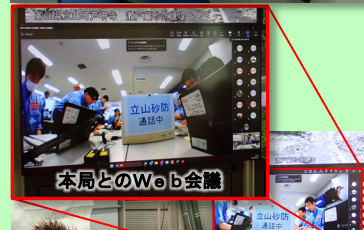
現地状況等の報告



情報の収集・整理・共有



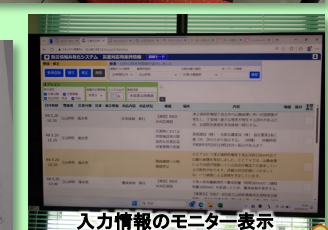
パソコンによるシステム入力



本局とのWeb会議



災害発生箇所・応急普及作業箇所図面（演習用）



入力情報のモニター表示



本局への報告演習

### 【演習後の反省会での意見（抜粋）】

- ・報告書の様式や記入方法についてテンプレートなどで統一を図る。
  - ・マスコミへの対応や地元からの問い合わせ等への対応も想定しておく。
  - ・今回の想定被害以上の災害が起きた場合の対処方法も考慮しておく。
  - ・メール等の通信についてはパソコンとスマートフォンの両方で確認しておく。
- 今回の演習での課題や反省点を改善し、今後の災害対応に反映します。